

平成30年10月号 No.144
(2018年)

みんなで支えあう 心ふれあう やすらぎのまち



社協かしわら

TEL 972-6786

FAX 970-3200

ホームページ

<http://kashiwara-shakyo.jp/>

メールアドレス

soumu@kashiwara-shakyo.jp



「ほのほの
ちゃん」



編集発行 社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会 〒582-0018 柏原市大県4-15-35 健康福祉センター内



第29回 柏原ふれあい
広場の様子

毎年恒例の柏原ふれあい
広場を11月18日(日)午前
9時30分から柏原市役所駐
車場で開催します。
今回は柏原市市制60周年
を記念し、またふれあい広

平成30年11月18日(日)開催 柏原市市制60周年 第30回柏原ふれあい広場 『皆でつくろう人にやさしいまち 地域のつながり再発見』

場の開催も今年で第30回目
となり、節目の年になりま
した。これもひとえに市民
の皆様のご理解とご協力の
おかげと感謝申し上げます。
柏原ふれあい広場は、誰
もが共に暮らせる住みよい
福祉のまちづくりをめざし、
地域住民の交流と福祉意識
の高揚、ボランティア活動
の推進を図ることを目的に
実施しています。
各地区福祉委員会、民生
委員・児童委員協議会、ボ
ランティア連絡会などが飲
食模擬店を出すほか、バ
ザーなどもあります。
福祉関係ブースでは、啓
発コーナーと社会福祉協議

会コーナーがあります。
今回のサブテーマは『地
域のつながり再発見』とし、
市内9つの地区福祉委員会
から、各地区の活動紹介も
行います。

この機会に、皆様がお住
まいになっている地区の活
動を知っていただきたいと
思います。そして当日、自
分の地区の模擬店に行くこ
ういいことがあるかも！ぜひ
新たな地域のつながりを見
つけてみてください。

地域共生社会の実現に向
けてわが地域を知ることか
ら始めてみませんか？

柏原ふれあい広場でお待
ちしています！

雨天時も開催します。
なお、当日午前7時まで
に気象警報が発令された場
合は中止となりますので、
ご了承ください。

【お願い】
車での来場は、ご遠慮くだ
さい。

会場でのゴミの減量にご
協力ください。

柏原市市制60周年第30回「柏原ふれあい
広場」協賛にご協力をお願いいたします！

・協賛金 企業・団体 1口 5,000円
個人 1口 1,000円

・協賛物品

くわしくは「柏原ふれあい広場」実行委員
会事務局までお問い合わせください。

☎ 972-6786 (担当 黒川)

会場では当日「フードドライブ」を行います。
ご家庭で眠っている食品をご寄付ください。

お持ちいただける食品は

- ・賞味期限が記載され一か月以上の残期限があるもの
- ・未開封で破損のないもの
- ・生ものでなく常温保存のもの
- ・ビンづめでないもの

※アルコール飲料は受け付けられません。

平成30年度

運動期間 10月1日 ▶ 12月31日

『赤い羽根共同募金運動』が始まります！

平成30年度募金バッチデザイン



今年の記念バッチのデザインは、登野城 明さん（大阪府）の作品です。

赤い羽根共同募金にご協力お願いします！

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。
昭和22年から始まった赤い羽根共同募金は、市民が主体の取り組みとして社会福祉事業の推進の為に役立てられてきました。
そして今、社会環境や人とのつながりも大きく変化の中で、『じぶんの町を良くするしくみ。』をスローガンに共同募金は地域福祉の推進にこれからも前進してまいります。

また、この募金活動は柏原市内の各種団体、学校、企業、住民の皆様をはじめ、たくさんの方のボランティアの皆様に支えられています。
赤い羽根共同募金は身近にできるボランティア活動です。皆様の地域で、学校で、職場で、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



あい愛ちゃん・きぼう希望君

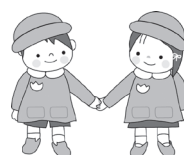
柏原ふれあい広場の共同募金コーナー、柏原市社協各窓口にて一定金額を募金して頂いた方に記念バッチなどを進呈しております。以前好評頂いたグッズも在庫がございます！募金の記念にいかがでしょうか。
（数に限りがございます。無くなり次第終了）

～共同募金の使い道～ どんなことに役立っているの？



柏原市では

- ・児童養護施設の子どもの入学、進学準備品の購入
- ・福祉施設の送迎車両の購入
- ・保育園の施設整備等



当協議会では

▽「愛の一声訪問活動事業」

75歳以上の一人暮らし高齢者の方の安否確認をするために週2回乳酸菌飲料の配布、声掛け等を行っています。

▽「在宅障がい者オムツ助成事業」

在宅で重度障がい者を介護する方の経済的・精神的負担を軽減するためにオムツの助成をおこなっています。

▽「認知症高齢者支援事業」

認知症の高齢者に限らず、支援活動や予防などに関心のある方々が会したカフェなどを開催しています。その他にも様々なところで皆さまからお願いした募金を役立て、地域で安心して生活できるまちづくりを目指していきます。

じぶんの町を良くするしくみ。

募金の使い道など詳しくはこちらもご覧下さい。

赤い羽根共同募金ホームページ <http://www.akaihane-osaka.or.jp/>



地域福祉だより

地区福祉委員会活動を紹介します！



地区福祉委員会さんの声

●2年目の若手委員さん

地域の福祉活動については今まで何も知らず、お話をいただいていたからお手伝いができるか不安でした。

しかし、ベテラン委員の方に支えてもらいながら子育てサロンや訪問活動などを徐々に取り組んで行っています。

これからも「私らしく」少しでも地域のお手伝いを頑張ります！

国分西町会 杉本 充子氏



地域の居場所！
ふれあいサロン

●4年目の中堅委員さん

福祉委員って難しそうと思っていましたが4年目になります。

いろんな地域活動があることを知り、今ではお手伝いさせていたでていることに感謝しています。

参加者の楽しそうな顔を見るとやって良かったと感じます。

玉手山町会 本田 満貴子氏



親子がにこにこ
子育てサロン

ほのぼのかたしも祭り

【日時】 10月17日（水）
午後1時半～4時

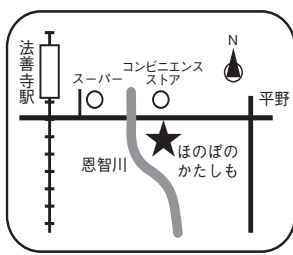
【内容】 ヨーヨー釣り・バザー・
ぶよぶよ金魚すくいなど

※参加費無料
（バザー・ケアカフェ
は有料）

【問合せ】 くらしの相談係

TEL: 972-6786

【場所】 ほのぼのかたしも



（柏原市平野1丁目12番1号）

大盛況！

「どんなー！こんな！」

ボランティア展

9月2日（日） 柏原市立健康福祉センターで、第19回「どんなー！こんなー！ボランティア展」を開催しました。

第一部では来賓の挨拶の後、新しい取り組みとして、スライドを活用し、実際の活動映像とともにボランティア団体を紹介していききました。わかりやすく来場者の注目を集めました。

第二部では



『過去の災害事例から学ぶこと』と題し株式会社タカオ力笠井氏の講演、「柏原市少年少女鼓笛隊」の演奏などで大いに会場が盛り上がりました。

ボランティア

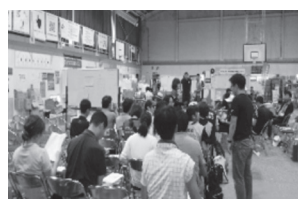
連絡会の皆様にはステージや展示コーナー、世代間交流コーナーなどでご活躍いただき、ボランティアの魅力がたくさん詰まった催しとなりました。



倉敷市災害ボランティアセンターにおける活動報告

平成30年7月5日から降り続いた『平成30年7月豪雨』により、岡山県倉敷市では真備地区を中心に甚大な被害を受けました。今回「近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、近畿ブロックの社協から岡山県に職員が派遣され、8月23日～27日まで柏原市社協からも運営支援に行ってきました。

現地では床上・床下浸水により多くの住民が避難所や仮設住宅で生活している状況でした。災害発生から3カ月ほど経ち、床板はがし等の専門的な依頼が増えていく一方で、ボランティアの数は減っているそうです。ボランティアの中には東北や熊本から来られている方もおられ、日本中で助け合いの輪が広がっていると感じました。



もし、自分の地域で災害が起こったらどうすべきか。今一度考えてみませんか？

